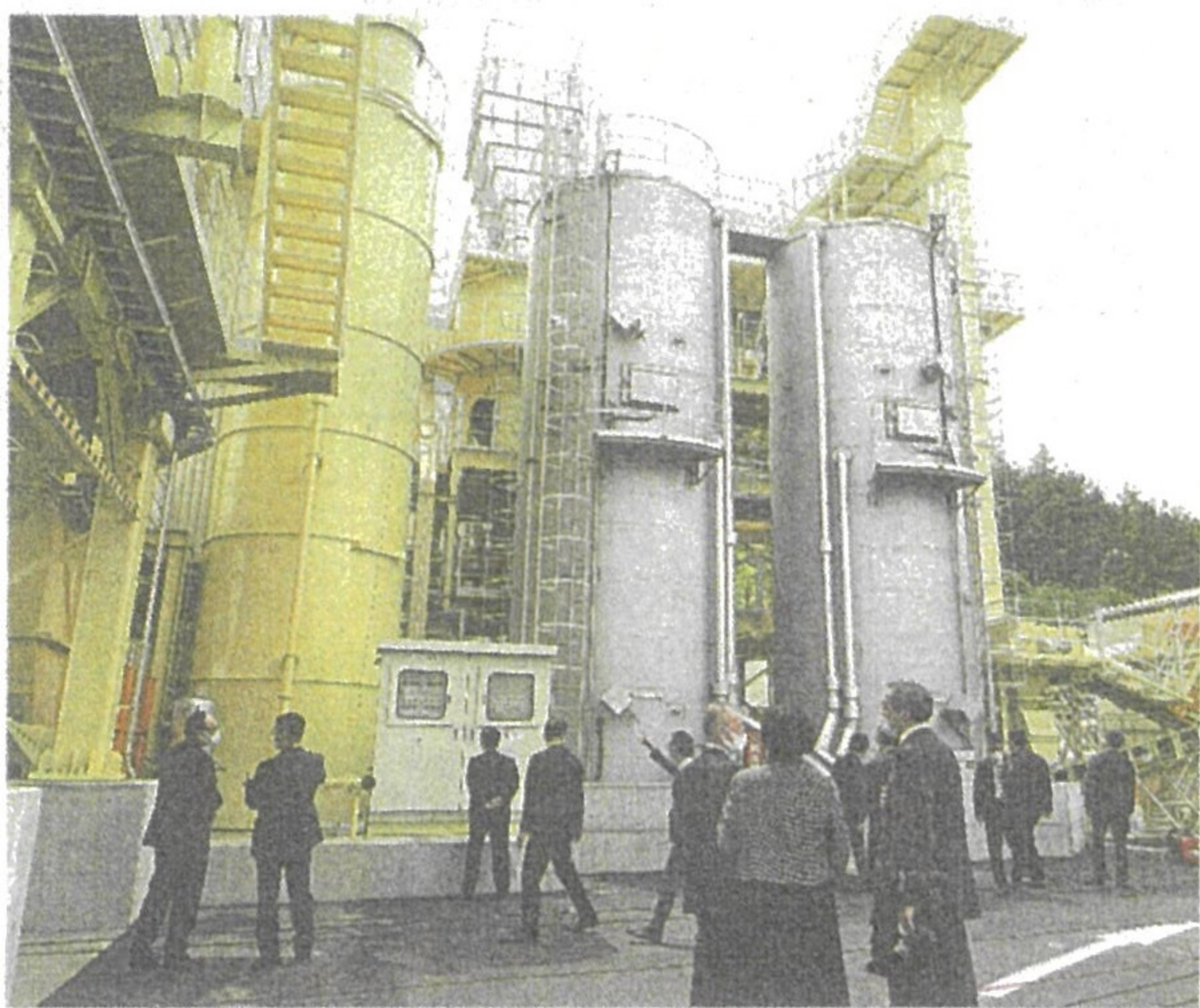


新たに整備されたアスファルトプラント



アスファルト工場移転新設

二戸・カシオペアアスコン共同企業体

生産力増強、来月稼働予定

カシオペアアスコン共同企業体（田祐久代表）は、二戸市福田にアスファルトプラントを移転新築した。老朽化によるもので、路面工事に使うアスファルト合材の生産力を増強した。7



月1日の稼働を予定する。

新工場は鉄骨造り4階建て、建築面積9550平方

メートル。1時間当たりの製造量

は96トと、従来の60トから

増えた。製品を貯蔵するサ

イロも2基（貯蔵量計18

0ト）に増やし、高速道や

県道工事などに安定供給で

きる。今秋ごろまでにリサ

イクル設備も整備予定で、

再利用も進める。

同じく福田地内にある旧

工場からの移転で、昨年9月に着工し、このほど完成した。23日は現地で火入れ式を行い、関係者約60人が完成を祝った。

共同企業体は鹿島道路（東京、吉田英信社長）、

同市の中館建設（中館真社長）、フクタ（中田勇司社

長）で組織する。吉田社長

は「これまで以上に力を発

揮し、通常時はもちろん災

害時の安定供給にも努め、

地域の発展に貢献してい

く」と話す。